

「DotCOE SafeWacth V3 分析データ抽出ツール」使用方法

1. 概要

本ツールは SafeWatchV3 で収集した情報から多く使われるデータ値を抽出し、CSV ファイルを作成します。CSV ファイルから不要なデータを探し、SafeWatchV3 除外フィルタとして設定して頂くことで、SafeWatchV3 で収集するログ発生量を効率良く抑えることができます。

2. 動作要件

本ツールを実行できる環境は、下記の通りです。

- ・ DotCOE のバージョンが V3.1 以降であること
- ・ SafeWatch V3 を利用中であること

3. 出力データ

本ツールで作成される CSV ファイルは以下の 7 種類があります。
それぞれのフォルタ項目に対するデータ件数の多い順に作成されます。

ログ種類	フィルタ項目	CSV ファイル名
ファイル監視	ディレクトリ	SWV3_yyyymm_Fil_Dir.csv
	ファイル名	SWV3_yyyymm_Fil_Filename.csv
	プロセス名	SWV3_yyyymm_Fil_Procname.csv
プロセス監視	ディレクトリ	SWV3_yyyymm_Pro_Dir.csv
	プロセス名	SWV3_yyyymm_Pro_Procname.csv
WEB 監視	タイトル	SWV3_yyyymm_Web_Title.csv
	サイト	SWV3_yyyymm_Web_Site.csv

【CSV ファイル形式】

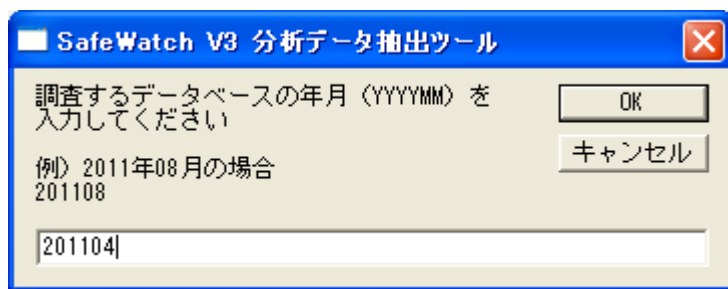
区切り文字 : カンマ
項目括り文字 : 無し
文字コード : SHIFT-JIS

4. 手順

- ① DotCOE サーバに管理者権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- ② 本ツール「SWV3_Filter.VBS」をローカルフォルダに保存し、実行します。

※ ツール実行時に、管理コンソールの SafeWatch ログビューアで検索を実行している場合、処理に時間がかかることがあります。

- ③ 調査を実施するデータの年月(西暦)を入力し、「OK」ボタンを押して下さい。
「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



SafeWatch V3 分析データ抽出ツール

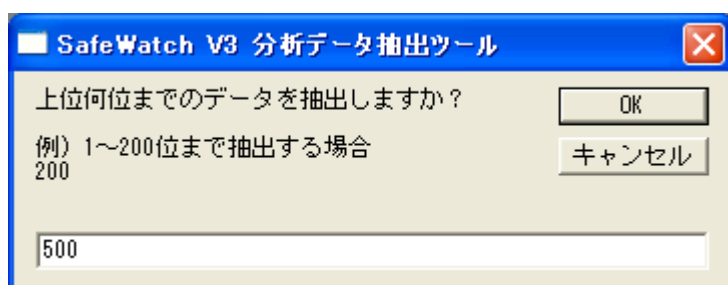
調査するデータベースの年月(YYYYMM)を入力してください

例) 2011年08月の場合
201108

201104

OK キャンセル

- ④ 利用頻度の高いデータを上位何位まで抽出するかを数字で入力し、「OK」ボタンを押して下さい。「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



SafeWatch V3 分析データ抽出ツール

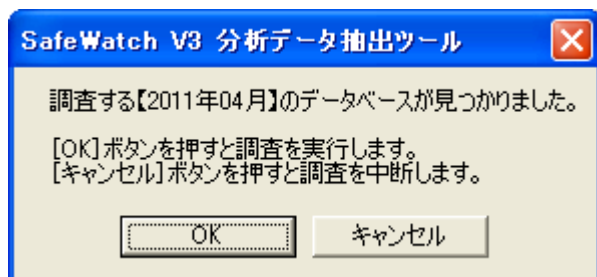
上位何位までのデータを抽出しますか?

例) 1~200位まで抽出する場合
200

500

OK キャンセル

- ⑤ 調査を実施する年月のデータが存在していれば、調査を実施します。
「OK」ボタンを押して下さい。「キャンセル」ボタンを押すとツールを中断します。



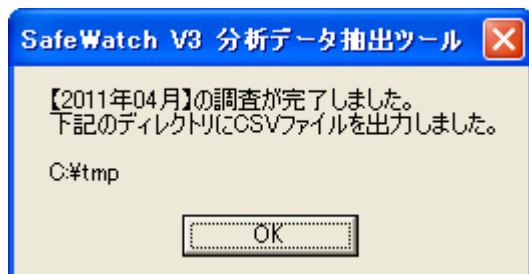
SafeWatch V3 分析データ抽出ツール

調査する【2011年04月】のデータベースが見つかりました。

[OK]ボタンを押すと調査を実行します。
[キャンセル]ボタンを押すと調査を中断します。

OK キャンセル

- ⑥ 処理が終了すると、下記のメッセージが表示されます。
データ量が多い場合、メッセージが表示されるまで時間が掛かることがあります。



SafeWatch V3 分析データ抽出ツール

【2011年04月】の調査が完了しました。
下記のディレクトリにCSVファイルを出力しました。

C:\tmp

OK

- ⑦ 以上で終了です。